第１学年２組　算数科学習指導案

１．題材名　かずのせん

２．本時の学習指導

（１）目標

〇数直線を、興味をもって観察したり、数直線上に数を表したりできる。

（算数への関心・意欲・態度）

（２）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 時間 |
| １　既習事項（かずのせん）について復習する。２　本時の課題を明確にする３　教科書１２４ページの数直線の□に当てはまる数を考える。問題　きょうかしょのかずのせんの□にあてはまるかずはなにかな？　０　１０　□　□　４０　□　６０　７０　□　９０　１００　４　なぜ同じ長さの線で大きな数を表すことができるか考える。C1　黒板の数の線は１メモリが１０だ。C2　１メモリの大きさがちがっているね。５　数直線上に３０より大きい数を表してみる。６　本時の学習についてのまとめをする。 | 〇　上記のような、数直線上の穴埋め問題を提示し、基本的な数直線の性質をおさえる。〇　なぜその数が□に当てはまるのかということの根拠を問う。問題　　つぎの□にあてはまるのはどんなかずかな？　　１　２　□　□　５　□　７　８　９　１０　（数直線上）〇　既習事項との違いを明らかにし、児童の活動をスムーズに進める。課題かずのせんに３０より大きいかずのあらわしかたをかんがえよう。〇　どのような規則で数直線の数が変化しているのかを考えることができるようにする。〇　なぜその数が□に当てはまるのかということの根拠を問う。〇　１目盛り当たりの大きさを変化させることで大きな数を数直線上に表現できるということを気づくようにする。〇　問題の解答は、教科書の数直線に記入するようにし、全員で答え合わせをするようにする。〇　数の大小関係を正しくとらえるとともに、数直線上に表せるようにする。評　数直線を、興味をもって観察したり、数直線上に数を表したりできる。（算数への関心・意欲・態度）〇　机間指導を行い、記入できているかどうかで評価する。問題かずのせんで、つぎのすうじをあらわしてみましょう。①４５より３０大きいかず　②９８より３大きいかず③１２０より５小さいかず〇　数の範囲が広がっても、線を長くしたり、１目盛り当たりの大きさを変えたりすることで、同じように数直線で表すことができるということをまとめる。 | ８７５１０１０５ |

３．板書計画